

地域共生社会に向けた学びと福祉の地域づくり ～学びとつながりをベースに地域連携を考える～

「地域共生社会」の構築に向け、これまで以上に教育と福祉やまちづくり等の分野との連携が必要となっています。そのため、社会教育と地域福祉の連携した地域づくり、具体的には公民館と社会福祉協議会との連携による「重層的支援体制」について考え合いました。



講義 「地域共生社会に向けた 学びと福祉の地域づくり」

松本大学総合経営学部教授

尻無浜 博幸 氏



○ 事例研究

コーディネーター 松本大学総合経営学部教授

尻無浜 博幸 氏

事例発表① 松本市「みんなの居場所・並柳団地なごみ」の取組

みんなの居場所・並柳団地なごみ顧問 伊藤 由紀子 氏

事例発表② 下諏訪町社会福祉協議会の活動

下諏訪町社会福祉協議会

中村 裕二 氏

〈受講者アンケートから〉

- 福祉政策の歴史から共生社会等、とても分かりやすく教えていただきました。(市町村)
- 福祉の考え方等知らないことが多く、ためになった。(公民館)
- 人が繋がり、幸せに生活するためには、福祉が一つの切り口になる。(国・県)
- 住民主体を実現するための具体的事例を学ぶことができました。(諸団体)
- コーディネーターの力量が重要だと思いました。(一般)
- 社協の課題・対応など様々な取り組み・アプローチを知ることができました。(学校)
- 社会教育と地域福祉の連携について検討したい。(市町村)
- 自分の出来ることを少しでも地域活動に活かしていければと思います。(一般)